

平成27年度行政事業レビューシート (警察庁)

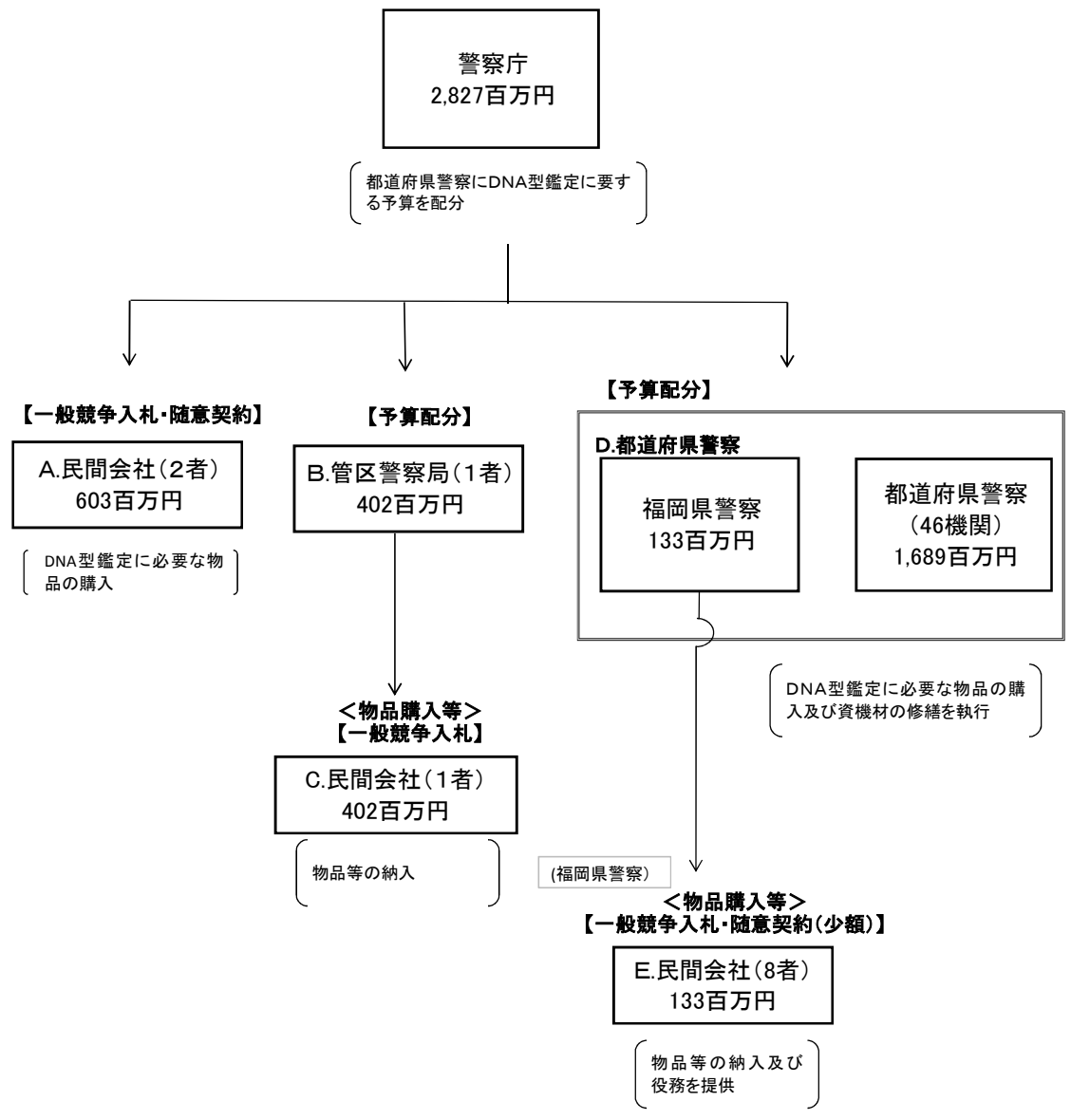
事業名	DNA型鑑定の実施			担当部局庁	刑事局			作成責任者
事業開始年度	平成4年度	事業終了(予定)年度	終了予定なし	担当課室	犯罪鑑識官			犯罪鑑識官 真家 悟
会計区分	一般会計			政策・施策名	犯罪捜査の的確な推進 1 重要犯罪・重要窃盗犯の検挙向上			
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	警察法第37条第1項第4号 警察法施行令第2条第4号			関係する計画、 通知等	-			
主要政策・施策	IT戦略			主要経費	その他の事項経費			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	極めて高い精度で個人を識別できるDNA型鑑定は、被疑者を特定し、犯行を立証する有力な客観的証拠となるものであり、犯罪捜査において不可欠な捜査手法となっているところ、近年における裁判員制度の導入、重要凶悪事件の公訴時効の廃止・延長といった刑事司法制度の大きな変革により、従来にも増して客観性の高い科学的証拠の収集・確保が重要となっていることを踏まえ、今後とも、重要犯罪、重要窃盗犯のみならず、あらゆる犯罪の捜査において、その積極的な活用を図り、より客観的証拠に依拠した犯罪捜査の科学化を推進する。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	刑事司法においては、客観的証拠が一層重視され、特にDNA型鑑定は、刑事裁判において高い証拠価値を認められている中、犯罪捜査における極めて高い有用性から、その鑑定需要は増加の一途をたどっている。そこで、今後とも、増加する鑑定需要に適切に対応して鑑定結果を犯罪捜査に迅速・的確に反映させるとともに、DNA型鑑定の証拠価値を損なうことのないよう、その信頼性や精度を確保するため、鑑定基盤の更なる整備強化を図るものである。							
実施方法	直接実施							
予算額・ 執行額 (単位:百万円)	予算 の 状 況		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度要求	
		当初予算	2,181	2,094	2,573	2,328	3,146	
		補正予算	809	75	606			
		前年度から繰越し	0	728	56	593		
		翌年度へ繰越し	▲ 728	▲ 56	▲ 593			
		予備費等	0	1,011	185			
	計	2,262	3,852	2,827	2,921	3,146		
	執行額	2,262	3,852	2,827				
執行率 (%)	100%	100%	100%					
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	24年度	25年度	26年度	目標最終年度 - 年度
			成果実績	-	-	-	-	
			目標値	-	-	-	-	
			達成度	%	-	-	-	
成果目標及び成果実績(アウトカム)欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙1】に記載							<input type="checkbox"/> チェック	
定量的な 成果目標 の設定が 困難な 場合	定量的な目標が設定できない理由			定性的な成果目標と24~26年度の達成状況・実績				
	定量的な目標が設定できない理由及び定性的な成果目標			(成果目標) DNA型鑑定の活用による科学捜査の推進 (達成状況) 各都道府県警察において、DNA型鑑定資料の積極的な採取、適正なDNA型鑑定の実施等により、科学捜査の推進に寄与している。				
	代替目標	代替指標		単位	24年度	25年度	26年度	目標最終年度 - 年度
	DNA型データベース活用の推進	DNA型データベースの活用件数(事件数)	実績	件	6,201	6,562	6,937	
		目標値	件	-	-	-		
		達成度	%	-	-	-		
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	24年度	25年度	26年度	27年度活動見込
	DNA型鑑定試料数(暦年による実績値)			活動実績	試料	241,069	248,782	267,237
				当初見込み	試料	-	-	-
単位当たり コスト	執行額/DNA型鑑定試料数			単位当たり コスト	円	9,230	9,675	10,110
				計算式	百万円/ 試料	2,225/241,069	2,407/248,782	2,702/267,237

平成27・28年度予算内訳 (単位：百万円)	費目	27年度当初予算	28年度要求	主な増減理由
	物品購入等	2,328	3,146	資機材更新経費の増 「新しい日本のための優先課題推進枠」696百万円
計	2,328	3,146		

事業所管部局による点検・改善					
項目			評価	評価に関する説明	
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。		○	客観性の高い科学的証拠の収集・確保は広く国民から期待されている。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	法令に基づき国庫支弁としている。	
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。		○	犯罪の確実な立証を図る上で不可欠なものである。	
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	一般競争入札を行い、競争性の確保、コスト削減等に留意している。	
	受益者との負担関係は妥当であるか。		○	DNA型鑑定を行う上で必要な金額を支出している。	
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。		○	調達方法の改善などコスト削減に留意している。	
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-		
	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○	DNA型鑑定に必要なものに限定している。	
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		-		
事業の有効性	その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか		○	全国の一定地域ごとにまとめて契約し、コスト削減に取り組んでいる。	
	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか		-		
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		○	犯罪の確実な立証を図る上で最適な手段・方法により実施している。	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		-		
関連事業	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○	犯罪の立証に活用している。	
	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-		
	所管府省・部局名	事業番号	事業名		
点検・改善結果	点検結果	都道府県警察に予算配分している経費については、都道府県警察から執行状況の報告を受けているので、支出先・用途については把握している。			
	改善の方向性	本事業は、対象事件の発生の多寡等によって所要額が左右されるものであるが、DNA型鑑定の重要性や犯罪情勢を勘案し、適正な予算積算に努めているところであり、今後も引き続き実施する。契約に際しては、競争性を高める調達をするため、全国の一定地域ごとにまとめて契約を一部実施している。			
外部有識者の所見					
点検対象外					
行政事業レビュー推進チームの所見					
事業内容の改善	検査試薬の調達方法について、全国の一定地域ごとにまとめて契約を行うなどの見直しを引き続き行うこと。				
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況					
執行等改善	都道府県警察ごとに調達していた検査試薬を、平成25年度に警視庁及び関東管区各県警察分を一括調達契約(中央調達)し、平成26年度には中央調達に加え近畿管区各警察分を管区調達、平成27年度にはさらに中部管区及び九州管区各警察分を管区調達とするなど調達方法の見直しを行っている。今後も引き続き調達方法の見直しを検討していく。				
備考					
実施年:平成24年度 シート番号・事業名:50番・DNA型鑑定の実施 公開プロセスの結果:一部改善 取りまとめコメント:現在の都道府県警察ごとの検査試薬の調達について、全国の一定地域ごとにまとめて契約するよう見直すなど、コスト削減方を検討すべき					
関連する過去のレビューシートの事業番号					
平成22年度	当初17-2、補正11-1	平成23年度	65	平成24年度	50
平成25年度	22	平成26年度	23		

※平成26年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位: 百万円)



A.株式会社池田理化			E.正晃株式会社		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
物品購入	マルチローカスキットの購入	551	物品購入等	アイデンティファイラープラスキットほかの購入	125
計		551	計		125
B.近畿管区警察局			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
予算配分	DNA型鑑定に要する経費	402			
計		402	計		0
C.株式会社アズバイオ			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
物品購入	マルチローカスキットの購入	402			
計		402	計		0
D.福岡県警察			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
予算配分	DNA型鑑定に要する経費	133			
計		133	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	株式会社池田理化	マルチローカスキットの購入	273	3	-
2	株式会社池田理化	マルチローカスキットの購入	278	随意契約	-
3	理科研株式会社柏営業所	高圧滅菌器の購入	27	2	-
4	理科研株式会社柏営業所	超低温槽の購入	25	2	-
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	近畿管区警察局	予算配分	402	-	-
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

C.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	株式会社アズバイオ	マルチローカスキットの購入	402	2	-
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

D.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	福岡県警察	予算配分	133	-	-
2	愛知県警察	予算配分	127	-	-
3	大阪府警察	予算配分	91	-	-
4	北海道警察	予算配分	79	-	-
5	福島県警察	予算配分	68	-	-
6	広島県警察	予算配分	64	-	-
7	兵庫県警察	予算配分	62	-	-
8	埼玉県警察	予算配分	61	-	-
9	香川県警察	予算配分	55	-	-
10	石川県警察	予算配分	53	-	-

E

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	正晃株式会社	アイデンティファイラープラスキットほかの購入	111.4	2	-
2	正晃株式会社	3130xlアドバンスドリベアパッケージほかの購入	2.9	1	-
3	正晃株式会社	TaqmanプローブSTATHほかの購入	2.6	1	-
4	正晃株式会社	0.5MEDTAほかの購入	2.5	1	-
5	正晃株式会社	0.3ml 96well DWPIほかの購入	2.3	1	-
6	正晃株式会社	3100/3130xl 36cmキャピラリーカラムほかの購入	1.1	随意契約	-
7	正晃株式会社	0.3ml 96well DWPIほかの購入	1	随意契約	-
8	正晃株式会社	4-fluoro PV9(hydrochloride)ほかの購入	0.8	随意契約	-
9	正晃株式会社	0.3ml 96well DWPIほかの購入	0.6	随意契約	-
10	正晃株式会社	SPE吸引マニホールド用シーリングプラグの購入	0.5	随意契約	-
11	伊藤忠テクノソリューションズ 株式会社	DNA型鑑定支援装置ソフトウェアライセンス保守	5.3	随意契約	-
12	株式会社福助屋	CD/DVDファイルほかの購入	0.3	随意契約	-
13	株式会社新興精機	Lysis Bufferほかの購入	0.3	随意契約	-
14	株式会社新興精機	防塵マスクほかの購入	0	随意契約	-
15	キングテック株式会社	トナーカートリッジほかの購入	0.3	随意契約	-
16	株式会社ゴジマ	CD・DVDファイルほかの購入	0.1	随意契約	-
17	徳重化学株式会社	0.05Mヨウ素溶液ほかの購入	0.1	随意契約	-
18	桜木理化学機械株式会社	InertSep C18ほかの購入	0	随意契約	-
19	桜木理化学機械株式会社	GLリムーバー用交換ビンほかの購入	0	随意契約	-